

妙法寺だより

令和二年
御盆号

特集

コロナの時代を生きる 仏教の視座から

緊急対談 松本紹圭 × 久住謙昭



～ 安心してお参り頂くために ～

妙法寺の感染予防『5つ取り組み』

受付・客殿では、マスクを配布しております
お一人様1枚にてご自由にお持ちください



受付・客殿では、消毒液を準備しております
お入りの際には、手の消毒をお願いします



本堂や客殿では、充分換気を行っております



テーブルや椅子など、小まめな
消毒清掃を心掛けております



感染から御守護を頂けるように祈願した
お札とお守をお分けしています



妙法寺だより 240号 目次

- 1頁 妙法寺の感染予防『5つの取り組み』
- 3頁-7頁 お盆についてのご案内 **【重要】**
卒塔婆/お墓参り/志納袋/お仏壇飾り/お参りの手順/
棚経中止のお知らせ/レジ袋の有料化にともない
- 8頁-11頁 コロナの時代を生きる ～仏教の視座から～
緊急対談 松本紹圭 × 久住謙昭
- 12頁 護持総会報告/御奉納/修行僧の紹介/瓦の改修工事
- 13頁 今後の仏事の対応について **【重要】**
- 14頁 妙法寺の受付にて/ほおずき市中止のお知らせ/
「駆け込み寺」はじめます
- 15頁 妙法寺LINE@はじめました



うらぼんほうよう
盂蘭盆法要
～ お盆法要 ～

8月16日（日） 午後2時より法要

インターネットでライブ中継いたします。
当日はホームページよりアクセスください

毎年、8月16日に営んでおります、午前11時の「新盆法要」並びに、午後2時の「盂蘭盆法要（お盆法要）」は、多くの方が本堂に集まり三密状態となることから、ご法要の参列はご遠慮頂きます。

その代わり、春のお彼岸法要と同様にインターネットライブ配信致します。パソコンやスマートフォンなどを通じてお参りし、参拝は個別でお願い致します。

個別での参拝については6頁にて詳細をご案内しております。

<http://myouhouji.jp>

卒塔婆

7月末日までに

お申込ください

お盆には卒塔婆をお建てし、その御心を捧げます。本年も例年通り、卒塔婆をお申込ください。

同封の「卒塔婆申込用紙」に必要事項をご記入頂き**7月末日迄**に同封の返信用封筒、またはFAX・Eメールでお申込みください。

| | | | | | | | |
|----|----|----|-----|------|-----|------|------------|
| 氏名 | 住所 | 宗派 | お盆料 | 卒塔婆料 | 新盆料 | お布施料 | お納め頂く特別供養料 |
| | | | | | | | |

八月十六日 妙法寺 卒塔婆申込書
 宗派別氏名ご記入
 妙法寺FAX番号 045-812-7676

FAX : 045-812-7676

E-mail : butuji@myouhouji.jp



お墓参り

8月6日～16日の間で

いつでもお参りください



三密を防ぐため、**8月6日(木)～16日(日)の10日間**、**分散してご参拝頂きますようお願い致します。**

新盆法要・盂蘭盆法要(合同法要)の参拝や棚経を中止する代わりに、ご参拝の皆様には、本堂で個別のお盆のご供養を行います。お申込頂きました卒塔婆を本堂正面にお供えし、ご供養の読経を行い、卒塔婆をお渡しいたします。

御志納 お布施

ご参拝の折に

受付にお出しください

「お盆供養料・卒塔婆料・新盆供養料」は、御志納袋にお納め頂き、ご参拝の折に受付へお渡しください。表面にはお名前を、裏面には内訳や合計金額をお書きください。

- ・お盆供養料：お盆法要へのお布施
- ・卒塔婆料：卒塔婆のお代
- ・新盆供養料：新盆を迎える方が、お納め頂く特別供養料



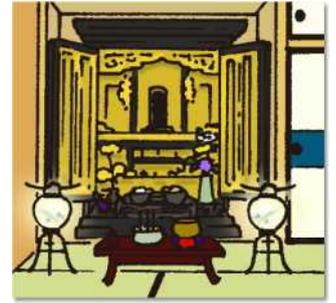
お仏壇飾り

末永く続ける

心のこもったお飾りを



お盆のお飾りで大事な点は「末永く続けられる」ことです。日蓮聖人が「火の信仰より、水の信仰」と教えられているように、ご供養は川の流れるように長く続けていくものです。毎年のお飾りは無理をせず、仏具店などで販売されているお盆用品を上手く使いながらも、好物だった物、故郷の食べ物など、心のこもったお供えやお飾りを一つ二つ添えて頂くのがよいと考えます。



お知らせ

気持ちよく

お参り頂くために



・お盆期間中（8月6日～16日）は墓地裏口（小学校側）を臨時駐車場として開放いたしております。おみ足の不自由な方なども、お車で直接お墓参り頂けます。



・8月6日～16日まで、受付にてお墓用の生花をご用意しております。※数に限りがございますのでご注意ください。

◎ 生花（お線香付き） 1対 1500円 1束 750円

◎ お線香 1束 100円

・本年度の護持費を受け付けております。



足が悪くて…

施設に入所して

まだまだコロナが心配

仕事が忙しくて

お墓参りの時に

卒塔婆を供えるのが…

さまざまなお事情により、お墓参りに来られない方、卒塔婆を墓地の裏に供えることが難しい方など、お申込書にその旨をお書き添えください！ 8月16日以降に、お寺で卒塔婆を墓地にお供えさせて頂きます。お気軽にお声掛けください。

※ 妙法寺に墓地がある方のみとなります。

※ 卒塔婆代などは後日、郵便振替を郵送します。



お参りの手順

感染防止対策の対策としてお盆は個別分散型にしました
下記の期間中にご参拝ください

- 期間：8月6日～8月16日
- 受付時間：午前9時～午後5時まで

棚経が中止となるため、
お仏壇のお位牌を
ご持参ください



①

受付にて志納袋をお渡し頂き、返礼品をお受け取りください。
※お子さまにはプレゼントがあるかも(*^o^*)



③

ご本尊様に卒塔婆をお供えします。お位牌をお持ちの場合は、お坊さんにお渡しください。



②

本堂内には、お申込頂いた卒塔婆がありますので、卒塔婆をお取りになり、お坊さんにお渡しください。



④

卒塔婆にお経を上げます。5分程度のお経です。皆様はお焼香をお願いします。



⑤

卒塔婆をお渡し致します。お気を付けてお墓参りに行ってください。



⑥

キレイにお墓を掃除して、今ある命に感謝をし、健やかな心、感謝の心でお墓参りをしましょう。

今年の棚経は中止致します



棚経は、各家庭のお仏壇をまわり、お盆のお経を上げ、ご供養する大事な仏事ではありますが、**本年に限っては、コロナウイルス感染拡大を考慮し、全面中止とさせて頂きます。**ご了承ください。毎年、棚経にお伺いしているお宅には、改めて中止のご案内状をお送りさせて頂きます。来年は、例年通り棚経にお伺いさせて頂きたいと考えております。

棚経の代わりに…

8月6日(木)〜16日(日)の期間中、本堂で個別のお盆のご供養を行います。ご参拝の折には、お仏壇のお位牌をご持参ください、本堂にお祀りしご供養いたします。



レジ袋の有料化にともない

7月1日から全国でレジ袋が有料化され、新しい暮らしの習慣がはじまります。妙法寺では、この新たな習慣を楽しんでもらいたいと考え、お盆の返礼品にオリジナルのエコバッグを制作しました。デザイナーの「三牧けいこ」さんと私(住職)のコラボデザインとなっております。どんなバッグなのか、デザインは当日のお楽しみです。



デザイナーの三牧けいこさん



試行錯誤の制作風景

コロナの時代を生きる
～仏教の視座から～

松本紹圭 × 久住謙昭

緊急対談

はじめに

皆様は、この数ヶ月間の大変な時期をいかがお過ごしでしたでしょうか？コロナの影響で、外出自粛生活のなか、仕事はテレワークになったり、休業を余儀なくされたり、子どもたちの学校は休校が続き、どこに行くにも常にマスクをしながら感染リスクに怯え、今までとは全く違う不自由な生活に心身共に疲弊し、新しい生活様式に戸惑いも多かったのではないかと拝察をしております。

妙法寺でも、夏のお祭りとして毎年たくさんの人々で賑わう恒例イベント「ほおずき市」も中止となりました。その他、緊急事態宣言中は浄心道場などの月例の行事も全て中止。親戚一同が集って行っていた法事は、延期や代表者一名のみで行い、オンラインでの法要も初めて試みました。お寺も対策や対応に追われ、日々の状況も一変しました。妙法寺の行事の風物詩であった、お堂いっぱい人がいて、みんなと一緒にお経を唱え、余興で笑い合う。そんな日常が二度とできなくなったら、700年の伝統を今後どのように継承し、運営していったら良いのかと私も不安な日々を送っております。



お正月の御祈禱会の様子

ミッドルコロナの時代

今後、ここから私たちが住む世界は「afterコロナ」では無く、コロナと共に生きていく「withコロナ」の世界。コロナウイルスと共存する社会や生活が始まるなかで、家庭を持つ一個人としては、

「どのような心構えで生きていくのか」

「どのような生活に切り替え、生きていくのか」

妙法寺の住職としては

「お寺はどう変わっていくか」

「どんな役割を求められ、果たしていくのか」

そんな自らの問いや不安に対して、やはり僧侶として仏教の教えにその拠り所を求めました。

日蓮聖人の時代

日蓮聖人が活躍された鎌倉時代。当時は飢饉や疫病が蔓延し、大震災が続き、多くの死者が出て国が乱れ、不安や不満が渦巻くなかで、日蓮聖人は南無妙法蓮華経のお題目の信仰によって安穏な社会を目指されました。当時と今、世界中がコロナの不安に怯える状況が酷似するなかで、日蓮聖人の志を引き継ぐ僧侶として、不安な社会を生き抜く支えとなる教えやヒントを発信したいと考え、今回特別対談を実施し、その様子を起稿します。



ヒントを求め対談

今回の起稿では「コロナの時代を生きる」仏教の視座から」と題して、ソーシャルメディアに「松本紹圭」さんを妙法寺にお招きし、不安な社会を生き抜くヒントを松本さんとの対話を通じて、求めていきました。

第1章 「死は常に自身の近くに」

第2章 「ウエルビーイングという生き方」

第3章 「中道」バランスを持って生きる」

対談の内容は妙法寺だより（夏・秋・冬）と3回に分けてお届けします。



松本紹圭（まつもとしょうけい）
東京都神谷町の光明寺の僧侶。世界経済フォーラム（ダボス会議）の Young Global Leader に選出。お寺経営塾「未来の住職塾」の塾長として計600名以上の超宗派の僧侶の卒業生を輩出。著書多数



死は常に自身の近くに

【松本】医療技術の進歩によって日本の平均寿命は延び、「人生100年時代」と言われ「死」という感覚を忘れがちになっていた現代社会に、近年の大規模な自然災害や大震災に続いて起きた今回のコロナウイルス感染拡大は、明日にも死んでしまうかもしれないという「すぐ近くに死がある」という事を再確認させられた、と話す。

私自身、3月後半から毎朝7時の朝勤にはコロナの収束と亡くなられた方々への供養の祈りを捧げていました。そんななか飛び込んだ計報は、小さい頃から大好きで、たくさん笑わせてくれた志村けんさんと、朝の情報番組で明るい笑顔が印象的だった岡江久美子さんのコロナによる逝去。このお二人のニュースはとても衝撃を受けました。「次はオマエの番だぞ」と、コロナに嘯かれています。人生100年時代「長生きして老後をいかに楽しく過ごすか」のCMが流れ、「いっつか死ぬ」ということを忘れてはいなかっただろうか？地位や名誉も関係なく死は常に近くにあり突然に平等に訪れる。そこにはお釈迦様が説かれた「生老病死」の教えがコロナによって深く心に響いてくる。



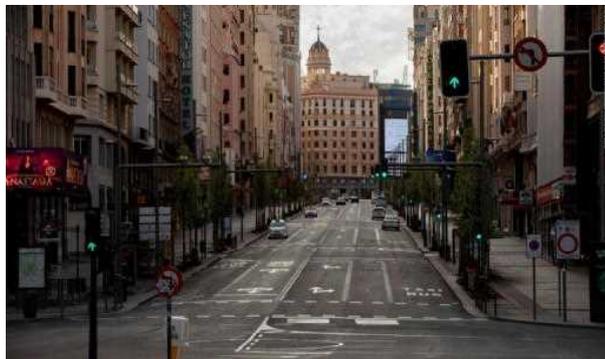
地球は慢性疾患状態

【松本】

地球はコロナの前から環境問題などにより慢性疾患状態であったが、コロナによってより重篤な慢性疾患になったので完治することはほぼないであろう。9年前の国難、東日本大震災とは同じ国難であつてもその性質は大きく違う。大震災の時は日本だけが大変な被害を受け、大きく傷ついた。しかし人々の力によってその傷は「復興」という形で治療することができた。しかし今回のコロナは日本だけではなく世界全体に及び、地球そのものの話である。そして、その地球の一部である私達人類も、その疾患を抱えながら今後生きていかなければならない。

おわりに

水や大気が汚れ、自然破壊が進み、コロナによって更に重度の慢性疾患となった地球に住む私たちは、生活や意識を見直すべく、一日一日を悔いなく丁寧に生きていく修正の時であるこ



とをコロナから学ばなければならぬと考えます。

今回の対談のなかで「普段から僧侶こそが「死」についてしつかりと語っていかねければならない」と話されていたのが印象的でした。「諸行無常」を教える仏教。諸行無常のスピードが加速する現代を仏教の視座で見つめ発信していくことが、僧侶の役割であると感じる。

次号では、「ウェルビーイングという生き方」と題して、コロナの時代を生きていくあり方のヒントをお届け致します。

松本紹圭さんの著書の一部をご紹介します。



護持総会報告

例年、妙法寺役員の皆様にご出席をいただき開催してまいりました「護持総会」は、コロナウィルス感染拡大を考慮し、筆頭総代の細谷延様、会計担当の金子幸一様、私（住職）の3名で4月18日（土）午後5時より行いました。

護持費をお納め頂いております皆様には、別紙「護持会決算報告」を同封いたしますのでご確認ください。

護持費とは

お寺を護持（維持管理）するために、お檀家さんご信徒さんが納めて頂く年会費です。妙法寺の役員さん（総代・世話人）によって管理され、年に一度、決算報告を行っております。皆様には年に一度の納入をお願いしております。現在、世情を鑑み、今後は振込でも対応できるように作業を進めております。

御奉納

金一封

誠桜院日芳信士 追善供養之為

施主 近藤秀子

修行僧のご紹介



古賀 匡敬

妙法寺に今年の4月から入りました、佐賀県出身の古賀匡敬君を紹介いたします。

古賀君は、お坊さんの仮免許の「沙弥」であります。平成14年生れ。平成29年より身延山高校に入

学し、宿坊の松井坊にて3年間給仕をしながら高校に通学し、卒業しました。

佐賀県妙誓寺のご子息で、お坊さんの免許取得のため、本年度より立正大学仏教学部に入學し、妙法寺で修行生活を行いながら、修行と学問の二道に励みます。高校時代は、生徒会長を務め、エレクトーンや車が趣味であります。何卒、お見知りおきいただき、気軽に声をかけてあげてください。

瓦の改修工事

昨年10月の台風19号によって、妙法寺も樹木が倒れ、瓦屋根が飛び、甚大な被害を受けました。瓦屋さんも被害の重い地域から取りかかるよう

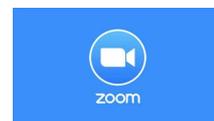
で、やっと5月後半から妙法寺の改修工事が行われ、6月中旬に終了いたしました。



【 重 要 】**今後の仏事の対応について**

コロナウィルス感染拡大による緊急事態宣言を受けて、妙法寺の年回忌法要などの仏事は、「代表者だけの参列・ご法要の様子を書面で報告・オンラインのYouTubeでお届け」などの対応を行って参りました。

緊急事態宣言が解かれ、県をまたいでの移動も緩和されたことを受けて、**今まで通りの対応に戻して参りません**。妙法寺では、1頁に掲載させて頂きました通り、感染予防の『5つの取り組み』を行い、安心してご参列頂ける環境を整えております。

**～ お寺のオンライン化を考える～**

今後、コロナの第2波の懸念やさまざまなご事情（施設に入所して来られない・遠方で来られない等）の場合は「ご法要の様子を書面で報告・法要の動画をYouTubeなどでお届け・法要の様子をZoomでライブ中継を行う」など**臨機応変に対応して参りたい**と思いますので、**どうぞお気軽にご相談ください**。

妙法寺では、コロナウィルス感染拡大によって春の彼岸法要・年回忌法要・祈願・法話などをいち早くオンライン化し、発信して参りましたが、やはりオンラインだけでは伝わらないことが多いと感じております。今後はオフラインのリアルな場でしか伝わらない空気感や温もりを大事にしながらも、時代に合わせてオンラインでも充分に対応できるよう、それぞれの良さを上手く活用し、使い分けていきたいと考えております。

妙法寺の受付にて



妙法寺のオリジナルの御守やお数珠

先月、皆様にお分けいたしましたコロナウイルス感染予防を祈願しました「疫病退散」の御札・御守は、引き続き受付にてお分けしております。

また仏具店で、日蓮宗のお数珠があまり販売されていないことから、妙法寺では身延山の松司軒仏具店様にご協力をお願いし、妙法寺オリジナルのお数珠をデザインし制作しました。祈る心を豊かにする素敵なデザインとなっておりますので、お盆にお参りの折には、ぜひ、お手に取ってご覧ください。



東戸塚ライオンズクラブ主催

ほおずき市 中止

毎年恒例で行われておりましたが、東戸塚ライオンズクラブ主催の「ほおずき市」も、本年はコロナウイルス感染拡大を考慮し**中止となりました**。毎年楽しみにされている皆様には心苦しいのですが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。コロナが収束し、来年の開催を心待ちにして頂ければ幸いです。



駆け込み寺

はじめます

個人面談・ご相談を受付けております。仏事はもちろんのこと、人生相談や終活のことなど、お話を聞かせください。一枠1時間を目安としております。事前にご予約をお願い致します。また、お電話やZoomなどでも受付ておりますので、お気軽にお声掛けください。ご相談後には、本堂前のお賽銭箱にお気持ちをお入れください。
※住職以外の僧侶が担当する場合がございます。

LINEで 友だちになろう!

@nase

友だち登録でお得な情報をGET!



LINEの友だち追加から
ID検索またはQRをスキャンして登録してね♪

© LINE

登録方法



妙法寺の行事やさまざまなお知らせを
いち早くお届けいたします。妙法寺LINE
のご登録をぜひお願いします。
ID検索は「@nase」で検索ください。